

# 令和5年度 第4回湖西市日本語教育推進会議

## 会議録

記録者 市民課 小林

▶ 日 時：令和5年9月29日(金) 9時30分～10時55分

▶ 場 所：湖西市健康福祉センター 3階 特別会議室

▶ 出席者：

- (委員) 常葉大学外国語学部グローバルコミュニケーション学科教授 坂本勝信  
静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科准教授 福永達士  
静岡県多文化共生課西部エリア担当地域日本語教育コーディネーター 岸川順子  
湖西国際交流協会事務局長 猪井英典  
学校教育課主任主査 内山さよこ
- (湖西市) 市民安全部長 山本健介  
市民安全部市民課長 豊田雄一  
市民安全部市民課協働共生係長 小林景子  
市民安全部市民課協働共生係主任 吉田有貴

▶ 資料：

【資料1】提言(案)

▶ 参考資料：

【参考1】第3回湖西市日本語教育推進会議 会議録

▶ 会議概要：

### 1. 開会

議事の前に、猪井委員から第3回会議録について修正の提案があり、次のとおり修正することが決定された。

(1) 会議録 P5、最終行

(修正前) 連携協働がでると

(修正後) 連携協働ができると

(2) 会議録 P7、5行目

(修正前) 先生が教える役割ではないと良いと思う

(修正後) 先生が教える役割ではなく対等な関係だと良いと思う

### 2. 議事

### 【議事(1) 提言の内容確認】

- ・ 市民課から、第3回会議後の経過として、提言(素案)について委員による確認と意見提出が行われ、会長及び副会長による検討の結果【資料1】提言(案)に整理されたことを報告した。
- ・ その後、整理の結果保留となっていた「2. 子どもの日本語教育への教育委員会の関わり強化」3行目の「学校編入前の」の文言を残すかどうかについて検討を行った。
  - ・ 「学校編入前の初期支援の目的と目標」について、現在行っているプレスクールの仕組みの目的・目標というよりも、初期支援全般の目的・目標を示す方が良いと思う。「学校編入前の」は、除いた方が良いのではないか。
  - ・ 基本は学校編入前なのかもしれないが、「学校編入前の」が入ることによって、学校に在籍している子どもの初期支援が必要な場合でも、対象ではないとされてしまうのではないか。
  - ・ 編入前とは、入学前と同じことか？
  - ・ その通り。編入前は学籍を起す前、在籍前であり、編入後は在籍後になる。編入後の子どもに支援をしなくて良いわけではない。現在、編入後は各学校での支援、編入前は教育委員会と国際交流協会での支援となっている。
  - ・ 初期支援とは？プレスクールとの違いは？
  - ・ 初期支援の必要性から「プレスクール事業（通年）」の実施を決めた際、以前からあった小学校入学前の親子対象の「春のプレスクール事業」を拡大し、同じ「プレスクール事業」の中に「通年」を追加したため、「プレスクール事業（通年）」という名称になっている。
  - ・ 他の自治体では、学校在籍後に初期支援を数か月間行う事例もある。そういう事例も含めて、初期支援を見直した方がいので、編入前に限らない方がいのかと思う。
  - ・ 取り出し授業を含めて初期支援なのか。
  - ・ 取り出し支援は、湖西市では教員が行っている。また、適応教室の指導員が巡回しながら、日本語が不十分な児童・生徒に、在籍校で1時間日本語の授業をするということも行っている。編入前に限らず、編入後も引き続き支援は必要であるし、現在の支援のブラッシュアップも必要。「学校編入前の」はない方がいと思う。
  - ・ 編入前も、学校へ通い始めてからも、どちらも大切。「学校編入前の」は、除いた方がい。
  - ・ 「学校編入前の」は除くことで一致。
- ・ その他の提言内容について、質疑応答・意見交換を行った。質疑応答・意見は次のとおり。
  - ・ 「2. 子どもの日本語教育への教育委員会の関わり強化」の3行目、「初期支援（通年プレスクール）の不十分な仕組みを見直し」は、提言（素案）にはなかった箇所だが、「不十分な」は必要か。
  - ・ 「仕組みを見直し」で十分に伝わるため、「不十分な」は除くことで一致。

- ・ 「2. 子どもの日本語教育への教育委員会の関わり強化」の3行目、「初期支援（通年プレスクール）の仕組みを見直し、初期支援の目的と目標を、教育委員会が提示すべきと考える。」の「初期支援」という言葉について、どこの支援を指すのかが説明できないといけない。提言を出したときにイメージしてもらえるか。
- ・ 日本語が初期の児童・生徒への支援という意味。
- ・ 湖西市の委託事業「プレスクール事業（通年）」で行っている内容は、一般的には「初期支援」と呼ばれているもの。編入前、編入後にかかわらず、日本へ入国後間もない児童・生徒で、日本語支援が必要な場合に、一定期間、集中的に日本語教育の支援を受ける事を指す。
- ・ 「初期支援」という言葉で提言する。
- ・ 「(通年プレスクール)」については、残すか？
- ・ 「初期支援（通年プレスクール）」は、現在の通年プレスクール、後半の「初期支援」は初期支援全般を指している。
- ・ プレスクールという言葉を使うと、学校編入前と限定されてしまうので、「初期支援全体の仕組みを見直し」としても良いのではないか。
- ・ 「(通年プレスクール)」を除き、「初期支援の仕組みを見直し」とする。
- ・ 「初期支援の仕組みを見直し、その目的と目標を、教育委員会が提示すべきと考える。」とする。

以上により、提言内容が決定した。

### 3. その他

提言提出の打合せを行った。

### 4. 閉会

以上